

YAMANASHI PREFECTURAL HOSPITAL

- 看護の価値を未来につなぐ -



地方独立行政法人

山梨県立病院機構

<https://www.ych.pref.yamanashi.jp/kko/>

令和9年度 看護師募集案内

創立150周年

令和8年は、明治9年5月の開院から150年周年となります。
山梨県の基幹病院として、
安全で質の高い医療の提供に務めてきました。
あなたも歴史ある病院で、諸先輩方が大切にしてきた
看護を継承するひとりになりませんか？



学びを仕組みに、 看護を価値に

看護の見直す 未来へつなげる

看護の価値化 看護を見直す

看護を語り、リフレクションを通して意味づける
語ることのできる仲間・認め合う仲間

看護の基本に立ち戻り
患者を全人的にとらえ、
自己の看護を振り返る



ごあいさつ

患者さんの回復過程を促進することを目指した看護を実践します

患者さんが回復していく過程で、「その人らしい生活」を取り戻せるように、看護師は24時間365日、患者さんのそばで寄り添い支えています。看護局では、患者さんが本来持っている力を引き出し、回復を助けるために、①起きる、②食べる、③排泄する、④清潔にする、⑤活動する、という5つの基本を大切にしながら、看護を行っています。これらの関わりを通して、患者さんの思いを中心としたケアを大切にしながら、看護の考え方や実践をチームで共有し、誰が関わっても質の高い看護を届けられるよう取り組んでいます。また、日々の実践を振り返る「リフレクション」を大切にし、患者さんの変化の意味を考え続けることで、患者さんと看護師の双方に成長が生まれます。その積み重ねこそが、看護の価値であると考えています。山梨県の基幹病院として、地域と連携しながら、患者さんが一日でも早く住み慣れた場所で生活できるよう、「早くきれいに治す」ことを目指して取り組んでまいります。



副院長・看護局長 石倉晴美

三施設の連携

つながりで体制強化

県立中央病院、県立北病院、県立あけぼの医療福祉センターが連携し、山梨県の医療の体制強化に努めています。3施設共に教育体制・福利厚生等、働きやすい充実した環境が整っています。



01 山梨県立中央病院
〒400-8506
山梨県甲府市富士見一丁目1-1
☎ 055(253)7111



02 山梨県立北病院
〒407-0046
山梨県韮崎市旭町上條南割3314-13
☎ 0551(22)1621

1954年(昭和29年)設置



03 山梨県立あけぼの医療福祉センター
〒407-0046
山梨県韮崎市旭町上條南割3251-1
☎ 0551(22)6111

1953年(昭和28年)設置



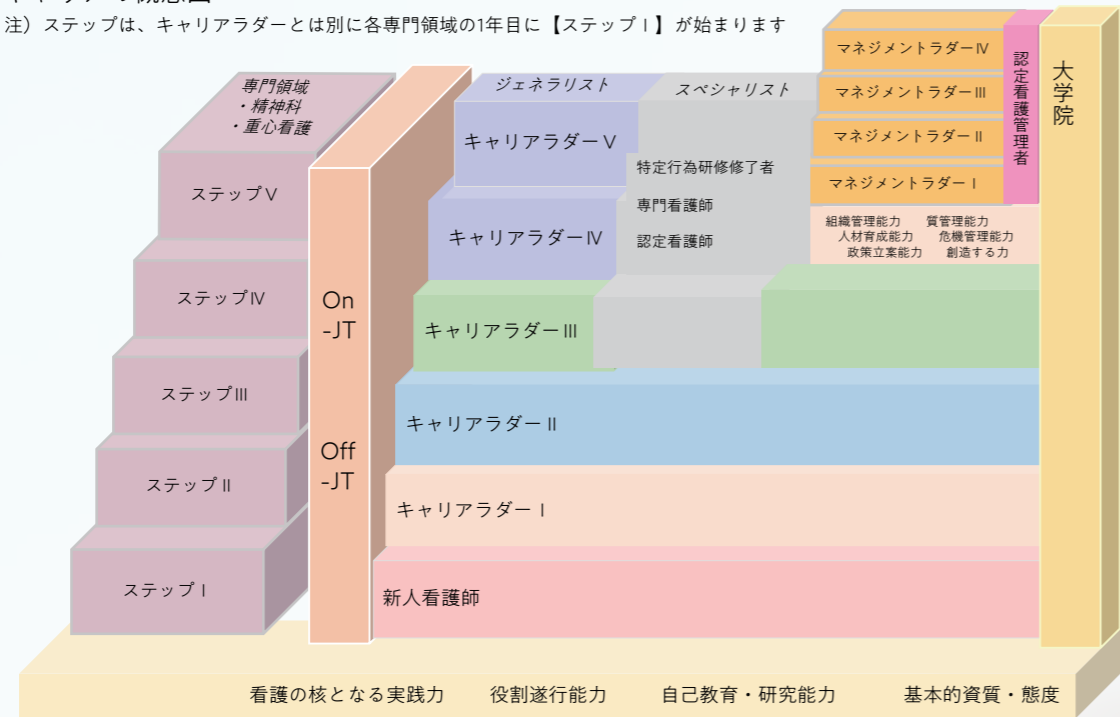
教育体制と専門的看護

3施設共通教育体制(キャリアラダー)

ラダーは看護師としての成長を可視化したもの個々の成長に適した研修を受けることで効果的にスキルアップしていきます。3施設共通のラダーであり、その成長はラダー制をとっているどの施設においても指標となるものです。

キャリアの概念図

注) ステップは、キャリアラダーとは別に各専門領域の1年目に【ステップI】が始まります



新人看護師の1年間のスケジュール

春	夏	秋	冬
<ul style="list-style-type: none"> ● 新入職研修(全職種) 病院を知る 勤怠・給与・福利厚生 防災・医療安全・感染対策 ● 技術研修 バイタルサイン 輸液ポンプ など ● 領域研修 高齢者看護 	<ul style="list-style-type: none"> ● 人間関係構築(宿泊) ● パートナーシップ ● 技術研修 静脈採血・インシュリン注射 摂食・嚥下、食事介助 ポジショニング 酸素療法・呼吸ケア など ● 領域研修 急変シリーズ(BLS) 多重課題・時間切迫 など 	<ul style="list-style-type: none"> ● 領域研修 急性期看護 がん看護 	<ul style="list-style-type: none"> ● 看護の魅力(事例) ● 技術評価 など

3施設看護師対象研修

(令和7年度実績/研修会場:県立中病院)

対象者	研修項目数
新人	18
ラダー I	7
ラダー II	4
ラダー III	5
ラダー IV・V	4
全ラダー	8
主任・管理者	5



|2年目| 学びを重ね、看護を深めた1年

令和7年度入職、放射線科外来の治療部門で勤務しています。新人看護師として過ごしたこの1年は、学びと成長の連続でした。日々のリフレクションを通して、先輩方と振り返りを行うことで、技術だけでなく「看護の意味」について深く考えながら成長することができたと感じます。外来看護では、患者さんを生活者として捉え、「その人らしさとは何か」を常に考えながら関わっています。これまでの背景や生活状況を踏まえたケアを提供できたときに、大きなやりがいを感じます。

各施設の専門領域

機能・役割

中央病院	高度急性期病院(高度救命救急センター) 地域医療支援病院 がんゲノム医療拠点病院 がん診療連携拠点病院 基幹災害拠点病院 第1種感染症指定医療機関 など
北病院	精神科基幹病院・災害拠点病院 精神科救急急性期医療 医療観察法による指定入院医療 児童・思春期精神科医療 認知症疾患医療センター 依存症治療拠点機関(アルコール健康障害)
福祉センターあけぼの医療	医療型障害児入所施設 療養介護 児童発達支援センター 生活介護 外来:小児科・整形外科・リハビリテーション科 など

専門領域研修

【急性期】
急性期看護
がん看護
高齢者看護

【精神科看護】
MSE(精神科専門アセスメント技術)
LEAP(コミュニケーション技法)
CVPPP(包括的暴力防止プログラム)
アンダーマネジメント

【重心看護】
摂食
ポジショニング
呼吸リハビリテーション
医療的ケア(気管切開・胃ろう・栄養管理)
福祉サービス

専門知識で患者と看護の仲間を支える認定・専門・特定看護師

研修講師

認定看護管理者 CNA	認定看護管理者	4名			
認定看護師 CN	皮膚・排泄ケア 集中ケア 緩和ケア がん化学療法看護	2名 1名 9名 1名	がん放射線療法看護 1名 慢性呼吸器疾患看護 1名 摂食嚥下障害看護 2名 感染管理 4名	認知症看護 8名 精神科看護 2名 透析看護 1名 糖尿病看護 1名	新生児集中ケア 1名 小児救急看護 1名 クリティカルケア 2名
専門看護師 CNS	慢性疾患看護	1名	母性看護 1名	急性・重症患者看護 2名	精神看護 1名
特定行為研修修了者	特定行為看護師	25名			

認定看護管理者 CNA	認定看護管理者	1名		
認定看護師 CN	精神科看護	4名	感染管理 2名	認知症看護 2名
専門看護師 CNS	精神看護	2名		

認定看護師 CN	がん化学療法看護師	1名
日本重症心身障害福祉協会認定	重症心身障害看護師	4名



山梨県における高度医療を提供する機関として 24時間体制で患者を受け入れる施設です



高度救命救急センター

山梨県内唯一

山梨県唯一の救命救急センターで、一般の病院、診療科では救命の難しい超重症の救急患者さんに対応する第3次救急医療を提供する施設です。山梨県民の生命を守る最後の砦であると考え、一人でも多くの方の生命を救えるよう日夜努力しています。



総合周産期母子医療センター

山梨県内唯一

総合周産期母子医療センターの指定を受けた山梨県内で唯一の施設です。NICUと連携し、合併症妊娠、多胎妊娠、胎児異常、既往妊娠・分娩で異常を認めたハイリスク症例を中心に妊娠・分娩管理を行っています。



がんセンター(がん相談・通院加療)

山梨県初

県内の医療機関では初めてがんゲノム拠点病院となり、がん診療と遺伝診療体制を整備しています。がん相談・通院加療センターなどを備え、社会生活を営みながらの治療を支援すると共に、がんによって生じる身体や心のつらさに対しても支援しています。



がん相談支援センター

がんと診断される前からがん患者さんとその家族が抱える様々な悩みや不安に対し、専門的な知識と経験を持つスタッフが多角的に支援を行う専門部署です。看護師ががん専門相談員として在籍し、医療の進展に対応しながらきめ細やかなサポートを提供しています。ゲノム医療の相談窓口でもあります。

複数の視点から患者を支えるチーム医療



褥瘡チーム
Pressure Ulcer Team



摂食・嚥下チーム
Eating and Swallowing Team



重症化予防チーム
Prevention of Severe Complication Team

医師、皮膚・排泄ケア認定看護師(WOCN)、理学療法士、薬剤師、管理栄養士と共に『褥瘡発生ゼロ』『褥瘡を早く治し苦痛を緩和する』をビジョンに多職種と連携して回診を行っています。病棟看護師とWOCNがOn-JTを通し、褥瘡予防のスキルアップを目指しています。

摂食嚥下障害のある患者さんに対し、摂食・嚥下機能の回復、誤嚥性肺炎や窒息等のリスクを回避した支援を行い、生活の質の向上につなげることを目的としています。安全に「食べた」を支えるため、環境調整やポジショニング、口腔ケア方法などを各病棟のリンクスタッフと連携しています。

患者の重症化予のために横断的に活動する、専門看護師、特定認定看護師、RRSメンバー看護師で構成されたチームです。定期ラウンドと相談対応を通して患者の早期回復と看護ケアの充実を目指しています。

看護を通院・在宅医療でも

19の看護外来

慢性疾患看護外来心不全	腎代替療法選択外来	患者支援センター	リンパ浮腫外来
慢性疾患看護外来腎臓病	腹膜透析(CAPD)外来	放射線治療科	ストーマ外来
慢性疾患看護外来炎症性腸疾患	妊娠初期・中期・後期保健指導	通院加療がんセンター	フットケア外来
慢性疾患看護外来呼吸器	母乳外来	がん相談支援センター	慢性疾患看護外来糖尿病
禁煙外来	助産師外来	がん看護外来	

入院・退院・通院支援

入院支援・退院支援・地域連携支援・外来在宅支援部門を置き、患者さんやご家族への相談・説明・支援を通して支援する部門です。

患者支援センター



pick up

AIを活用することで一人ひとりの患者と向き合う時間を充実させる

AIナースによる視覚的にわかりやすく標準化した説明を活用しています。看護師は個別の疑問や不安に対応し安心して治療・生活ができるよう支援しています。



働きやすい環境とウェルビーイング



PNSシステム

集合研修で根拠を理解し、病棟で先輩の説明を聞きながらケアを覚えてもらえるので、患者の状況を理解し、患者に合わせたケアを学ぶことができます。

より詳しい
教育プログラム・
研修内容一覧は
こちら



2年目 | 仕事もプライベートも大切にできる環境

私が勤務している集中治療室は、重症な患者さんが多く、高度な治療が行われる緊張感のある現場です。しかし当院ではPNS制度により、先輩看護師とペアで行動するため、困ったことや不安なことをすぐに相談でき、安心して働くことができます。私は筋力トレーニングやギター演奏、温泉巡りを趣味としており、学生時代は「社会人になると趣味の時間が取れなくなるのでは」と不安を感じていました。実際には休暇もしっかり取ることができ、仕事とプライベートのメリハリをつけながら、自分の時間も大切に過ごすことができます。

日勤の流れ | 病棟勤務の場合(一例)

8:30	出勤
8:40	カンファレンス・情報収集・与薬・点滴準備 情報共有を行い1日の計画を立てます。疑問や不安をその場で先輩に確認できます。
9:00	検温・与薬・点滴・検査介助・ケア パートナー看護師と複数の目で確認を行うことで、安全に実施できます。
12:00	食事提供
13:30	カンファレンス 患者様に、より良い看護を提供するために、パートナーだけでは解決できない問題に対するアドバイスや、意見などを共有します。
14:00	お昼休憩
15:00	ケア・記録 先輩の技術や声かけを側で体感できて技術習得に繋がります。ケアと一緒にすることで情報の共有が行えます。
17:15	勤務終了



フライトナースの1日
フライトナース1日と
フライトナースのやりがいを紹介!



病棟看護師の1日
日勤看護師と夜勤看護師の1日と
看護師のやりがいなどを紹介!



看護師紹介
山梨県立中央病院で働く看護師と
施設などを紹介!

感染対策を“特別なこと”ではなく

“あたりまえ”にできるように

感染リンクスタッフとして活動する中で、感染対策の重要性と実践の難しさを実感し、専門性と根拠をもって組織に働きかけられる存在を目指し、就職後10年目に感染管理認定看護師を志しました。認定課程および特定行為研修の1年間は、金銭面だけでなく業務調整など多方面で病院の支援を受け、学びに専念することができました。現在はICTやASTの一員として医師・薬剤師・検査技師と協働し、ラウンドを通して現場の課題を丁寧に可視化、言語化しています。明確化された課題に対しガイドラインなどの根拠を大切にしながらも、現場それぞれのやり方や考え方を十分に理解したうえで、より安全で実践可能な方法をスタッフとともに考え、感染対策を実践していくことを心がけています。

[感染管理認定看護師]



山梨県立中央病院で働く /

先輩看護師からのメッセージ

家庭とキャリアを両立しながら歩む看護師の道

私は2013年に入職し、現在13年目を迎えます。消化器外科病棟で経験を積み、7年目にICUへ異動しました。10年目に特定行為研修を修了し、感染分野への関心が高まったことから、12年目に認定看護師教育課程へ挑戦する決意をしました。患者さんと職員を感染から守れる専門性を高めたいと考えたことが志した理由です。

妻も当院で看護師として勤務しており、子どもは4人います。学業と子育ての両立に不安もありましたが、職場の理解や勤務調整、家族の支えが大きくなりました。第二子以降の出産時には配偶者出産休暇や育児参加休暇を取得し、父親として育児に主体的に関わる時間を持つことができました。

現在は感染管理認定看護師教育課程で学びを深めながら、専門性と家庭生活の両立を実践しています。当院は、「仕事」と「人生」を大切にしながら、自分らしいキャリアと人生設計を描ける職場です。



ライフステージを大切にしながら成長できる看護師の道

平成11年入職(勤続27年)、看護師長をしています。看護師として働きながら結婚・出産を経験し、現在は中学生男子2人の母です。

仕事と家庭の両立は決して簡単ではありませんでしたが、家族や仲間の支えの中で続けていくことができました。また、慢性期看護を深めたい思いから大学院で学ぶ機会にも恵まれました。看護は、人の人生に寄り添いながら自分自身も成長できる仕事です。

ここには、安心して長く成長していける環境があります。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



Yamanashi Prefectural Central Hospital Data book (2026年4月1日現在)

■病床数 644床 ■診療科 39科 ■職員数 1,590人(看護師数 789人) ■看護体制 7対1看護
【令和7年度実績】 ■平均在院日数 11.3日 ■日平均入院患者数 465.5人 ■1日平均外来患者数 1,334.4人



患者の夢の実現を目指し、退院に向けたサポート方法を患者と共に検討する
「共同意思決定」多職種カンファレンスSDM(Shared Decision Making)

最新の こころの医療で共に回復を目指す

北病院は精神科救急医療・児童思春期精神医療・アルコール依存症治療等、最新の医療とリハビリテーションを提供しています。また、認知症疾患医療センター、子どもの心の診療拠点病院の機能も果たしています。看護部は、患者さんの人権を尊重し、本来持っている力や強みを大切に看護を実践しています。さらに、外来・入院・訪問・地域との連携を強化し、多職種と共に患者さんの回復促進に向けた支援を行っています。そして、こころの出前講座や教育機関への看護師派遣など、人材活用に積極的に取り組み、精神科看護師としてやりがいのある職場です。

看護部長 大木 友美



北病院の精神科看護

MSE研修会



患者の暮らしをみる“セルフケア”の視点を
軸とした看護ケアを実践

集団作業療法 退院準備プログラム



患者の強みを活かす支援により、
地域生活をイメージし退院準備に繋げる

外来患者との面談



患者個々の「病状悪化サイン・対処方法」を
患者家族・地域支援者と共有し、地域療養をサポート

訪問看護ステーションと 切れ目ない連携



病棟看護師と密な情報連携
～退院前カンファレンスへ参加

地域社会への貢献



出前授業：小中学校や高等学校での正しい知識の普及を推進

地域支援：地域施設に出向き、感染対策や精神障害者の理解の
促進など啓蒙活動



北病院で働く/ 先輩看護師からのメッセージ



|2年目| 精神科看護の学び

新卒で精神科に進むことに最初は不安もありましたが、患者さんとじっくり関わる中で、その人らしい笑顔や小さな変化に出会えることに大きなやりがいを感じています。

精神科看護はすぐに結果が見えないことも多いですが、だからこそ関わりを重ねる中で見られる小さな回復や変化に大きな喜びを感じます。暖かい先輩方に支えていただきながら、患者さんの人生に寄り添う看護の奥深さを日々実感しています。

|3年目| 精神科看護 新たなスキルを活かした日々

私は以前救命救急センターで働いていましたが、自殺企図未遂で搬送され、身体の治療が進むと精神科病院へ転院していく姿を多く見ました。その後はどのような過程を辿っていくのか、その先の医療に関心があり精神科の道に進みました。現在は児童思春期病棟において自分自身がゲートキーパーとして取り組むと共に、より多くの職員がゲートキーパーとなれるよう自殺予防に向けて発信しています。また、日々子どもたちの“自己肯定感を高めること”を意識して関わっています。難しさもありますが子どもたちが少しでも前を向いて退院できるよう、多職種で密に情報交換し医療チーム一丸となって支援することを心がけています。



より詳しい北病院プログラム・研修内容一覧はこちら



Kita hospital Data book (2026年4月1日現在)

- 病床数 188床
- 診療科 精神科
- 職員数 221名(看護師 123名)
- 看護体制 1A病棟:10対1看護 1B病棟:15対1看護 1C病棟:10対1看護 2C病棟:10対1看護
- 指定病院 心神喪失者医療観察法入院機関、応急入院指定病院、認知症疾患医療センター、子供の心の診療拠点病院
- 病院見学のご希望は 〒407-0046 山梨県韮崎市旭町上條南割3314-13 電話:0551-22-1621



その人らしさを大切に、命の輝きを支える

山梨県立あけぼの医療福祉センターは、医療法による病院と児童福祉法及び障害者総合支援法による福祉施設が合体した、医療及び福祉の専門職員が入所支援、通所支援、地域支援(外来診療・リハビリ・地域療育等支援事業の拠点施設など)を行っている複合施設です。

看護師は、障害や年齢、身体・精神面における健康問題への対応とともに、利用者さん・家族の方々が笑顔で過ごすことが出来るように、その人らしく生きるための支援を大切に看護実践をしています。

山梨県立病院機構からの派遣という形で勤務しています。新採用者の方も看護経験がある方も、当センターの教育プログラムと中央病院や北病院の研修を活用して学べる体制を整えています。看護師として、看護の基本となる看護実践を通して成長できる職場です。



総看護師長 石川文美子

あけぼの医療福祉センターについて

入所部門

医療型障害児入所/療養介護(80床)



入院(3床)・親子入所(2床)



短期入所(8床・日中一時4床)



通園部門

通園(医療型児童発達支援センター)
通所(生活介護)
外来(小児科・整形外科・小児リハ)



重心看護ステップ

重心看護ステップ/5つの習得段階(レベル)

重症心身障害児者看護の更なる質の向上と、重心看護師の専門性を発揮できる看護師の育成に向けた教育カリキュラム

ステップ: I・II・III・IV・V

- ステップ:I 指導を受けながら基本的な実践が行えるレベル
- ステップ:II 基本的な実践が自立して行えるレベル
- ステップ:III 個別性を重視した実践が行えるレベル
- ステップ:IV 入所者の状態や状況に応じた実践が行えるレベル
- ステップ:V 根拠を基に実践の指導が行えるレベル



重症心身障害看護領域の知識と技術を一緒に学んだり話し合いたいです。

ステップの項目



重症心身障害看護の専門性を高めながら、実践と研修を通して着実にキャリアを積み上げることができます。仕事と生活の両立を大切に、学び続けられる職場です。



あけぼの医療福祉センターで働く / 先輩看護師からのメッセージ



2年目 生活を支える大きな役割に誇りを持つ

センターでは、医療的ケアだけでなく利用者さんの生活全体に寄り添う看護が出来るのが魅力です。日々の中で信頼関係を深め、笑顔や安心した表情を見れたときは大きな喜びがあります。知識や経験豊富な先輩方の手厚いフォローのおかげで日々新たな学びや気づきがあり、自身の成長に繋がっています。利用者さんの生活を支える大切な役割に誇りを持って働ける職場です。

7年目 生活と仕事のバランスを保ち生き生き働ける職場

私は中央病院から異動してきて4年目になります。昨年末に結婚し、結婚休暇を5日間取得し新婚旅行にも行きました。変則勤務がある中でも家族の協力を得ながら生活と仕事のバランスを保ち、今まで通りに働き続けることができています。



Akebono Medical Welfare Center Data book (2026年4月1日現在)

- 看護体制障害者施設等入院基本料 7対1
- 診療科 小児科、整形外科、リハビリテーション科、泌尿器科、皮膚科、歯科
- 病院見学のご希望は 〒407-0046 山梨県韮崎市旭町上條南割3251-1 電話:0551-22-6111

キャリアアップの
目標は師長に相談!



魅力や 気になるポイントを 聞きました!



配属先の希望は
聞いてもらえる!

Q1

職場環境を教えてください

-県立中央病院-

院内にはPCや資料を完備した図書館があり、24時間利用ができます。また、技術練習ができるシミュレーションセンターがあります。各部署にiPadがあり、病院が契約しているe-learningを受講できます。



Q2

インターンシップは
いつ頃行われますか?

-県立中央病院-

夏休みと春休みを利用して参加できるよう、8・9月と2・3月に予定します。病院HPでお知らせしています。

マイナビ看護学生

マイナビ看護学生から各種予約・応募ができます。詳しくはこちら>



Q3

育児支援はありますか?

-県立中央病院-

院内託児所「ドレミ」があります。夜間保育、病児・病後児保育も実施しており、院内で働く医療従事者をサポートしています。



Q4

看護体制は
どのようにしていますか?

-北病院-

”固定チーム継続受け持ち制”です。入院～退院まで、受持ち看護師を中心に、多職種と共に患者参加型カンファレンス等を実施し、患者さんの望む地域生活に戻れるよう、思いに沿った支援、リハビリに取り組んでいます。

Q5

入院平均在院期間は?

-北病院-

令和6年度の平均在院期間は、69.5日でした。入退院支援室と連携し、治療後の療養先検討を始めています。退院後も地域と継続支援し、オンライン診療も行っています。



Q6

病棟はどのような様子ですか?

-北病院-

精神科単科の4病棟です。救急入院病棟2病棟、その他、慢性期、成人・児童思春期等の混合病棟です。窓からは自然豊かな景色が見え、リビングにピアノもあります。

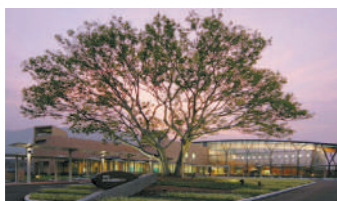


Q7

あけぼのは
どのようなところですか?

-あけぼの-

重症心身障害児者の入所、通所、短期入所事業(地域で暮らす方のレスパイト)を行っています。



Q8

あけぼのでの勤務や研修などは
どのように行われていますか?

-あけぼの-

機構の看護師として県へ派遣という形で勤務しています。研修は機構の看護師と一緒に中央病院のラダー研修や管理研修に参加しています。

Q9

重心看護の魅力は何ですか?

-あけぼの-

利用者それぞれのその人らしさを多職種で支えることができることや、日々の関わりの中で、返してくれる笑顔を見たり成長を感じることができることはとても魅力です。

給与・福利厚生

身分・処遇等 (2026年4月1日現在)

● 身分 地方公務員

- 給料 初任給(基本給)
大学卒 271,477円
専門3卒 267,567円
専門2卒 264,058円
※保健師または助産師免許を取得している場合は、272,880円
※看護師としての職歴がある場合は加算あり

モデル月収例	大学卒	専門3卒	専門2卒
月額	271,477	267,567	264,058
地域手当	4,886	4,816	4,753
夜間看護手当	42,400	42,400	42,400
夜間勤務手当	12,908	12,712	12,572
救急病院勤務手当	10,500	10,500	10,500
合計	342,171円	337,995円	334,283円

基本給、主要手当(地域手当、夜間看護手当×4回分、夜間勤務手当×28時間分)含む

● 昇給年1回

- 手当 地域手当、扶養手当、救急病院勤務手当、住居手当、通勤手当、時間外勤務手当、夜間看護手当他ボーナス(6月と12月に年間4.65月分を支給)
※住居手当:アパート等を借り受け、家賃を支払っている職員に対して手当が支給されます。(家賃に応じて手当額が異なります[支給限度額28,000円])

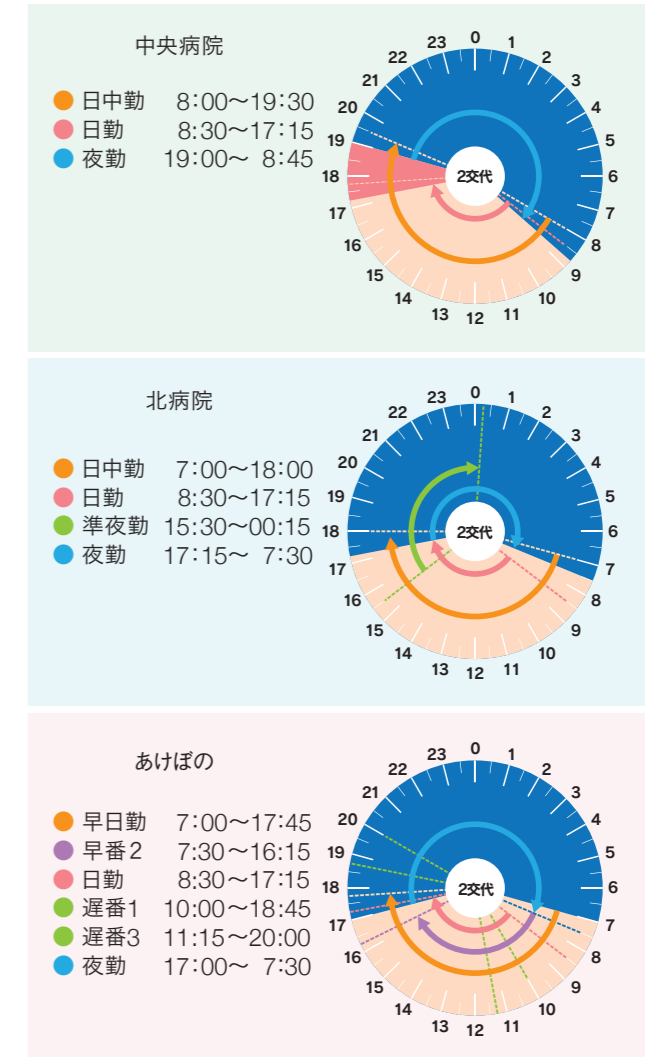
- 休日 土・日・祝日・年末年始 ※交代制のため、代休日を指定します。2026年度の休日124日間

- 休暇 年次有給休暇20日(4月から3月の間に付与されます。)、婚姻休暇(5日) 夏季休暇(5月から11月までの間に5日)、出産休暇(出産予定日前8週から出産後8週まで) ほか

福利厚生制度

当機構の職員は地方職員共済組合や山梨県職員互助会に入会し、療養や年金等の給付、結婚や出産の祝金、育児休業手当等が支給されます。人間ドック等の健康管理事業や住宅購入等の資金貸付があります。また、様々な福利厚生事業(全国各地宿泊施設や文化・スポーツ施設の利用補助、バスツアー)もあります。

● 勤務時間 変則二交代制



● 看護職員就職支度金貸与制度

当院で看護師になられた若手職員の経済的な支援をする制度があります。(詳細は山梨県立病院機構 総務課人事・給与担当にお問い合わせください)

採用情報(3施設合同)

- 選考試験のご案内
4月上旬、山梨県立中央病院HPに掲載されます。
提出書類:採用選考申込書・履歴書・面接カード(すべて指定書式) 成績証明書
4月中に「病院説明会」を開催いたします。
- 各施設の情報は各施設のHPに詳しく掲載されています
各施設情報:施設HPをご覧ください(P1-2に二次元コード掲載)

● 採用看護師の主な出身校

県内: 山梨県立大学・山梨大学・健康科学大学・帝京山梨看護専門学校・甲府看護専門学校・共立高等看護学院・富士吉田市立看護専門学校

県外: 信州大学・長野県看護大学・佐久大学・松本看護大学・飯田短期大学・諏訪中央病院看護専門学校・諏訪赤十字看護専門学校・秋田大学・群馬大学・東京医療学院・東京医療保健大学・順天堂大学・関東学院大学・東京家政大学・東京工科大学・静岡県立大学・岐阜医療科学大学など

令和9年度 地方独立行政法人
山梨県立病院機構職員(看護師)募集案内

〒400-8506 山梨県甲府市富士見1丁目1番1号

TEL:055-253-7111(代) FAX:055-253-8011



地方独立行政法人
山梨県立病院機構

YAMANASHI PREFECTURAL HOSPITAL ORGANIZATION



<https://www.ych.pref.yamanashi.jp/kiko/>